

# 平成 16 年度ホタテガイ採苗情報 (第 9 報)

平成 16 年 7 月 21 日

発行：岩手県水産技術センター  
協力機関：沿岸地方振興局水産部

## 「唐丹湾では、採苗器 1 袋当たり 18,200 個の付着」

### 1 稚貝の付着状況 (7/20、唐丹湾)

水深 10m 層に、4 月 22 日から 3 か月間、5 月 18 日から 2 か月間、6 月 17 日から 1 か月間にわたり垂下した採苗器の付着状況を調べました。

付着数は、それぞれ 15,476 個/袋、18,178 個/袋、2,915 個/袋でした。

5 月 18 日に投入した採苗器では、採苗数の非常に多かった昨年の値 (付着数：15,731 個/袋) を大幅に上回り、調査開始以来の最多付着数を記録しています。

また、付着稚貝は、殻長 6mm 未満のものが主体でした。4 月 22 日と 5 月 18 日に投入した採苗器には、殻長 8mm 以上の大型個体が必要数以上付着していますが、全体の付着数が非常に多く、既に成長が停滞しているものと推察されます。

なお、害敵生物は、5 月 18 日に投入した採苗器にヒトデが 1 個/袋、6 月 17 日に投入した採苗器にヒトデとコツブムシがそれぞれ 1 個/袋確認されたただけでした。また、4 月 22 日に投入した採苗器には、ムラサキガイとキヌマトイガイが非常に多く付着していました。

### 2 付着盛期と採苗器の投入適期

これまでの調査結果から、今年の釜石地区における付着のピークは 6 月上旬で、採苗器の投入適期は 5 月上旬～中旬であったと考えられます。

唐丹湾のように付着稚貝数が多い地区では、採苗器内が過密状態になり、それによって成長が停滞したり、稚貝が弱る可能性があります。

付着稚貝の数とサイズを十分に把握した上で、早めに分散するようにしましょう。

また、稚貝の採取にあたっては、投入した採苗器全てから、できるだけ大きい個体を選ぶようにしましょう。

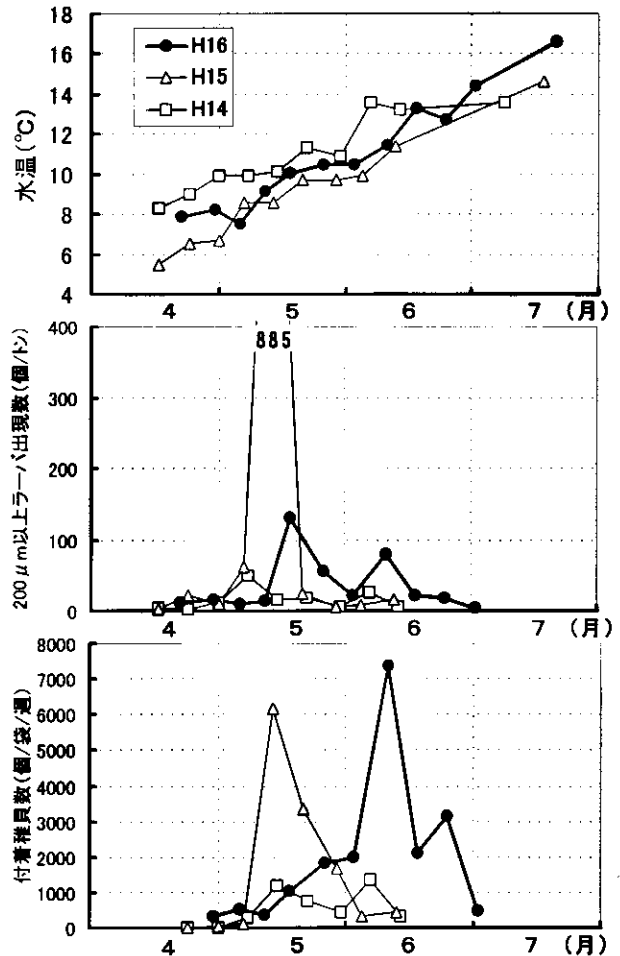


図 唐丹湾における水深 10m 層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

表 唐丹湾におけるホタテガイ稚貝の付着状況 (平成 16 年 7 月 20 日)

投入月日	付着稚貝 (個/袋)						計
	1~2mm	~4mm	~6mm	~8mm	~10mm	10mm~	
4月22日	745	6,912	5,171	1,135	746	767	15,476
5月18日	699	7,292	7,066	2,163	922	37	18,178
6月17日	187	2,525	203	0	0	0	2,915

注 殻長 1mm 以上の個体について測定

なお、今期の採苗状況調査は、今回で終了となります。ご協力ありがとうございました。